



## CONTENTS

- P 2 ごあいさつ・2022年ハイライト
- P 3 ORGAN事業構成マップ
- P 4 [特集]第15回産業観光まちづくり大賞金賞受賞
- P 6 [特集]長良川温泉・岐阜城下町エリアのリノベーションまちづくり
- P 8 ORGANロジックモデル
- P 9 川のテロワール
- P10 長良川鵜飼船遊びと信長公のおもてなし御座船遊び
- P11 まいまい東海
- P12 2022年度活動計算書
- P13 数字で見るORGAN
- P14 2023年度事業方針
- P15 ORGANの活動に参加するには

団 体 名 NPO法人 ORGAN  
 所 在 地 岐阜市湊町45  
 設 立 平成23年2月17日  
 理 事 長 蒲 勇介  
 事 業 内 容 まいまい東海事務局、長良川デパート・和傘CASAにおける小売事業、ORGANキモノレンタルサービス、オンパク手法による地域支援事業、長良川流域観光推進協議会各種業務、その他観光まちづくり支援事業  
 取 引 先 岐阜県、岐阜市、桑名市、(株)JTB中部、(株)JTB、名鉄観光サービス(株)、近畿日本ツーリスト(株)  
 T E L 058-269-3858  
 F A X 058-269-3857



ORGAN

# ANNUAL REPORT

## 2022 NPO法人ORGAN 年次報告書





# ごあいさつ

## 長良川流域文化を工芸と観光の分野で商品化し 高い評価を頂きました

ORGANは2011年に法人化し、2023年には12年目を迎えます。長良川温泉と長良川流域のみなさまと立ち上げた「長良川温泉泊覧会(長良川おんぱく)」にはじまり、少しずつ活動の輪を大きくしてきました。この間、たくさんの長良川流域文化の魅力に出会うとともに、それらの継承を阻む課題もまた多いことを実感してきました。さまざまな課題に向き合い、活動を続けている中で、2022年度には「産業観光まちづくり大賞」(公益社団法人日本観光振興協会)の最高賞である「金賞」をいただきました。これは、私たちORGANだけではなく、長良川流域のみなさまとともにいただいた賞であると感じています。特に岐阜和傘に携わるみなさまとの連携によって成し得た事業が高い評価となり、今回の受賞に至りました。

また、長良川流域文化のひとつである遊宴文化継承の取り組みでは、鶴飼で芸舞妓との宴席を楽しむ「船遊び」を数多く開催した年でもありました。8月に発行した「長良川流域文化レッドデータブック」に掲載したように、船遊びは長良川流域文化のあらゆる要素の集積であると言えます。一船大工が作る船、提灯などのしつらえ、食事にお酒、そしてこの土地独自の舞や演奏—たくさんのお客様をご案内したことで船遊びの市場や観光商品としてのかたちが少しずつ見えてきたように思います。

2022年の成果の一部ではございますが、本年次報告書(アニュアルレポート)で紹介させていただきます。ご高覧頂きますと幸いです。

NPO法人 ORGAN 理事長 蒲勇介

## 2021年度ハイライト

### 1 産業観光まちづくり大賞 金賞受賞



### 3 船遊び多数開催 御座船遊びテスト開催



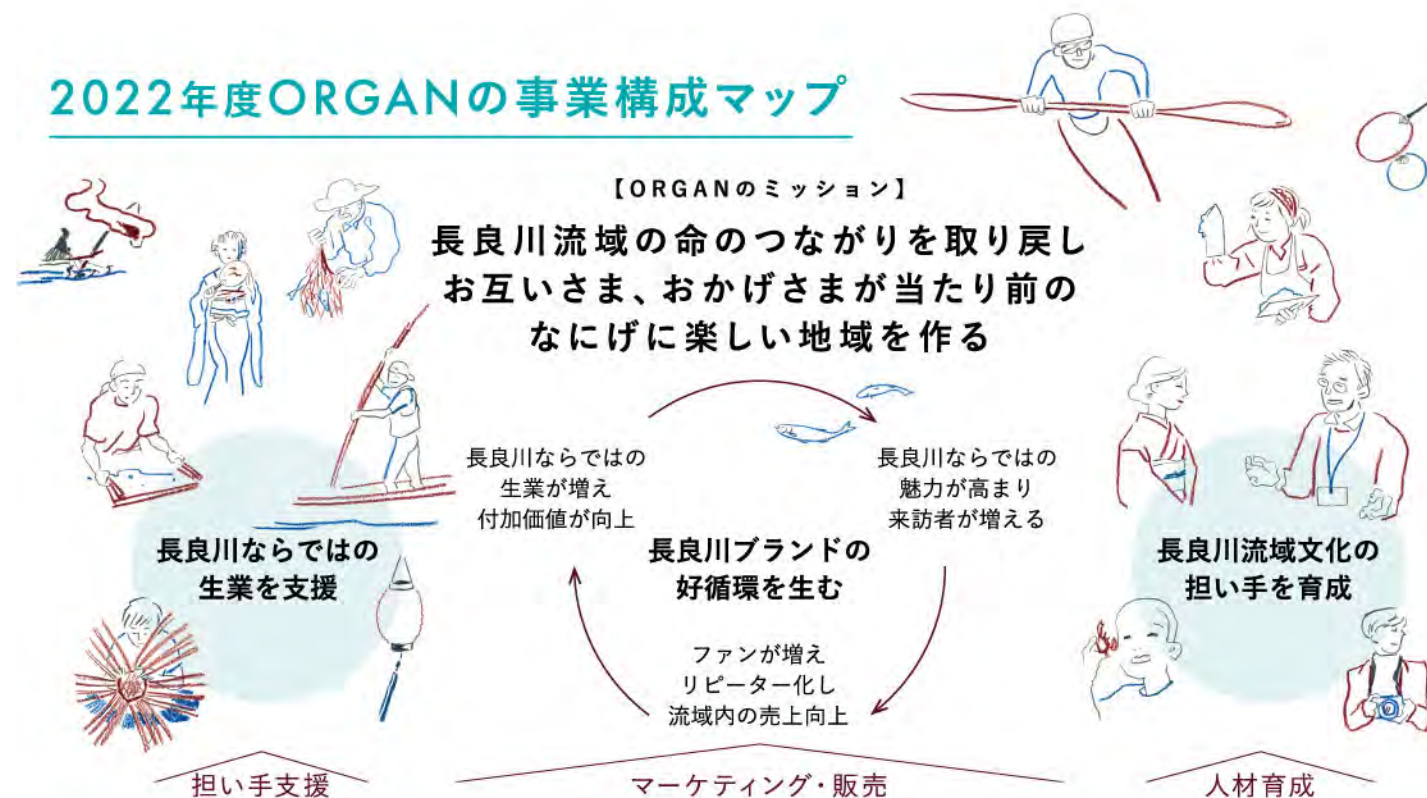
### 2 長良川流域文化レッドデータブック発行



### 4 「川のテロワール」をリリース



## 2022年度ORGANの事業構成マップ



発掘  
長良川流域の自然・暮らし・生業



活動の継続性や高い事業性を評価

# 第15回産業観光まちづくり大賞 金賞受賞

法人設立当時から現在に至る活動を総合的に評価いただき、このほど産業観光まちづくり大賞の最高賞である金賞を受賞いたしました。

「長良川おんぱく」を皮切りに継続的に取り組んできたこと、そして、岐阜和傘を核とした体験コンテンツ造成、高付加価値商品づくり、後継者育成など多面的な取り組みを行っていることなどを高く評価いただき、「伝統工芸を観光

で拡大していく理想的モデル」というコメントもいただきました。この賞は、ORGAN単独ではなく、これまで一緒に活動してきたみなさまとともに頂いた賞であると考えております。また、荣誉ある賞をいただけるということは、この活動が多くの方に認めていただけた証であるということも大変嬉しく思います。この受賞を励みとして、これからも長良川流域の観光まちづくりに取り組んでいきたいと思っております。



授賞式の様子



市長表敬訪問

## 産業観光まちづくり大賞とは

〈主催〉全国産業観光推進協議会

公益社団法人日本観光振興協会

〈対象〉産業観光に取り組んでいる組織・団体

(企業、事業者、NPO、観光協会等)

〈評価の視点〉

- ①顧客サービスの獨創性(顧客への提供手法の新新さ・ユニークさ)
- ②対象資源の価値(対象とする資源の固有性・希少性など)
- ③編集視点(対象とする資源をストーリーとして提供しているか)
- ④事業性(収益が見込める事業として展開しているか)
- ⑤ビジネス創出(新たなビジネス機会の拡大が図られているか)
- ⑥誘客力(産業観光の展開により、観光客の誘致に成果をあげているか)
- ⑦商品力(産業資源を素材とした商品造成により、観光客の誘致に成果をあげているか)
- ⑧国際性(国際的視点や外国人観光客の誘致に向けた取組が図られているか)
- ⑨連携(他地域や異業種との連携による広域的な産業観光の推進が図られているか)

その他の受賞団体の紹介(敬称略)

◆経済産業大臣賞

(公社)やまなし観光推進機構(山梨県)

「やまなしワインツーリズム」

◆観光庁長官賞

横須賀市(神奈川県)

産業遺産を活用した周遊施策

「MEGURU PROJECT」の実施

◆銀賞

越前海岸盛り上げ隊(福井県)

越前海岸の暮らしに触れる旅/越前海岸盛り上げ隊

◆特別賞

(一社)備前観光協会・(一社)みんなでびぜん(岡山県)

海洋教育を通じたSDGsと観光

一里海・里山の自然と共存する観光まちづくり

## 評価のポイント

「和傘」を核に、高単価の商品や体験プログラムの造成・販売、戦略的なプロモーション活動、伝統産業を守り伝えていくための人材育成、地域の他の伝統産業との連携など、様々な優れた取組を行っている。活動の継続性や、高い事業性が評価され、金賞に選定された。

※主催である公益社団法人日本観光振興協会のニュースリリースより引用させていただきます。



## 審査委員からのコメント

NPO法人として長良川流域のまちづくりに関わり、地元の工芸品である和傘を「和傘CASA」として付加価値を高める様々な取組を進めていることをはじめ、長良川流域の逸品を組み合わせた広域観光を進めている点、流域の美濃和紙と組み合わせ和傘のさらなる高価値化に取り組んでいる点など、将来の可能性を評価する。高価格の和傘や体験メニューなど、和傘の価値を高め、収益を職人育成にあてるなど、将来を見据えた取組に感心させられた。産業観光拠点「長良川てしごと町家 CASA」という関係者や来訪者が集える場所があることは大きな強みとなるだろう。

「長良川おんぱく」から継続的に取り組んできたものであり、伝統工芸を観光で拡大していく理想的モデル。国際的展開も大いに期待したい。

かつての「長良川おんぱく」としてスタートした事業が、地域の伝統産業「和傘」の復活だけでなく、長良川水運と和紙(美濃)との連携を図りながら、見事な産地復活を成し遂げた素晴らしい事業である。長良川流域は、美濃和紙・関刃物・木工など優れた伝統産業の産地がありながら長い間バラバラの状況であったが、下流の岐阜の活動がこれらを繋ぐハブになりつつある。

## メディア掲載

多くのメディアに取材いただきました。ありがとうございました。(敬称略)

- 読売新聞
- 観光経済新聞
- 中日新聞
- 岐阜新聞
- ほか

## 事業責任者コメント

授賞式は、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開かれたツーリズムEXPOジャパン2022の会場内で行われました。全国の名だたる皆様とともに登壇させていただき、他の受賞者の皆さんのプレゼンにも刺激を受けました。



## 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業を活用した

# 長良川温泉・岐阜城下町エリアのリノベーションまちづくり

2021年度のアニュアルレポートでは「既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業」として掲載いたしました。同じく観光庁の後継事業「令和5年度事業 地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」にも採択され、2022年度も継続して取り組みました。「地域一体となった」という事業名にもあるように、単独施設だけが稼げるようになるのではなく、長良川温泉・岐阜城下町エリアが地域として顧客を呼び込むことを目指します。岐阜市内外からの観光客がまちを歩き、回遊することで、さらなる消費が生まれる。その経済効果により、長良川流域文化の担い

手たちにも収益が生まれ、次世代の担い手の育成や新たな取り組みへの投資などを行い、文化を繋いでいくことができます。また、本事業は地域性を色濃く感じられる町家を守るという側面でも重要な事業となっています。町家を観光施設（商店や飲食店）へとリノベーションすることで、地域の景観を守り、住民の暮らしの中で再び輝きはなつものとなります。

このページでは、再生・高付加価値化事業にともに取り組んだ事業者様をご紹介します。

※本事業では十六フィナンシャルグループのカンダまちおこし株式会社様、株式会社十六総合研究所様と連携させていただきました。



①十八楼 バイキング会場の改装・レストランへの改装



②ホテルパーク 和モダンルームへの改装



③長良川観光ホテル 石金 屋上スペースの改装



④鞆匠の家 すぎ山 造船所・木工所への改装



⑤ナガラガワフレーバー サブレ店への改装



⑥岐阜まち家守 裏参道モールへの改装



⑦&n(アンドン) 広場の改装



⑧山本佐太郎商店 店舗の改修



⑨スタジオhiyori スタジオの改修



⑩アトリエのら 店舗の改修



**2021年度事業の成果物件**

- 岐阜市 高級観光造船 イベント開催
- 鞆匠の家 すぎ山 実家の改修・配膳用施設の抗菌
- 長良川観光ホテル石金 ロビーの改修・感染症対策・Wi-Fi増強
- ホテルパーク 大浴場の改修・感染症対策・Wi-Fi増強
- 長良川デパート (NPO法人ORGAN) 売場面積の増床
- 岐阜麦酒醸造 Taproom YOROCA 善光寺待合所を店舗に改修
- 十八楼 客室の改修・ロビーの感染症対策
- ナガラガワフレーバー (エルフラット) 新店舗の改修
- 岐阜県会自動車 シャトルバス実証実験・イベント開催
- 都ホテル岐阜長良川 キャンピングオフィス・Wi-Fi増強



# ORGANが2030年までに取り組む

## 「生業が次世代に受け継がれている長良川流域の実現」

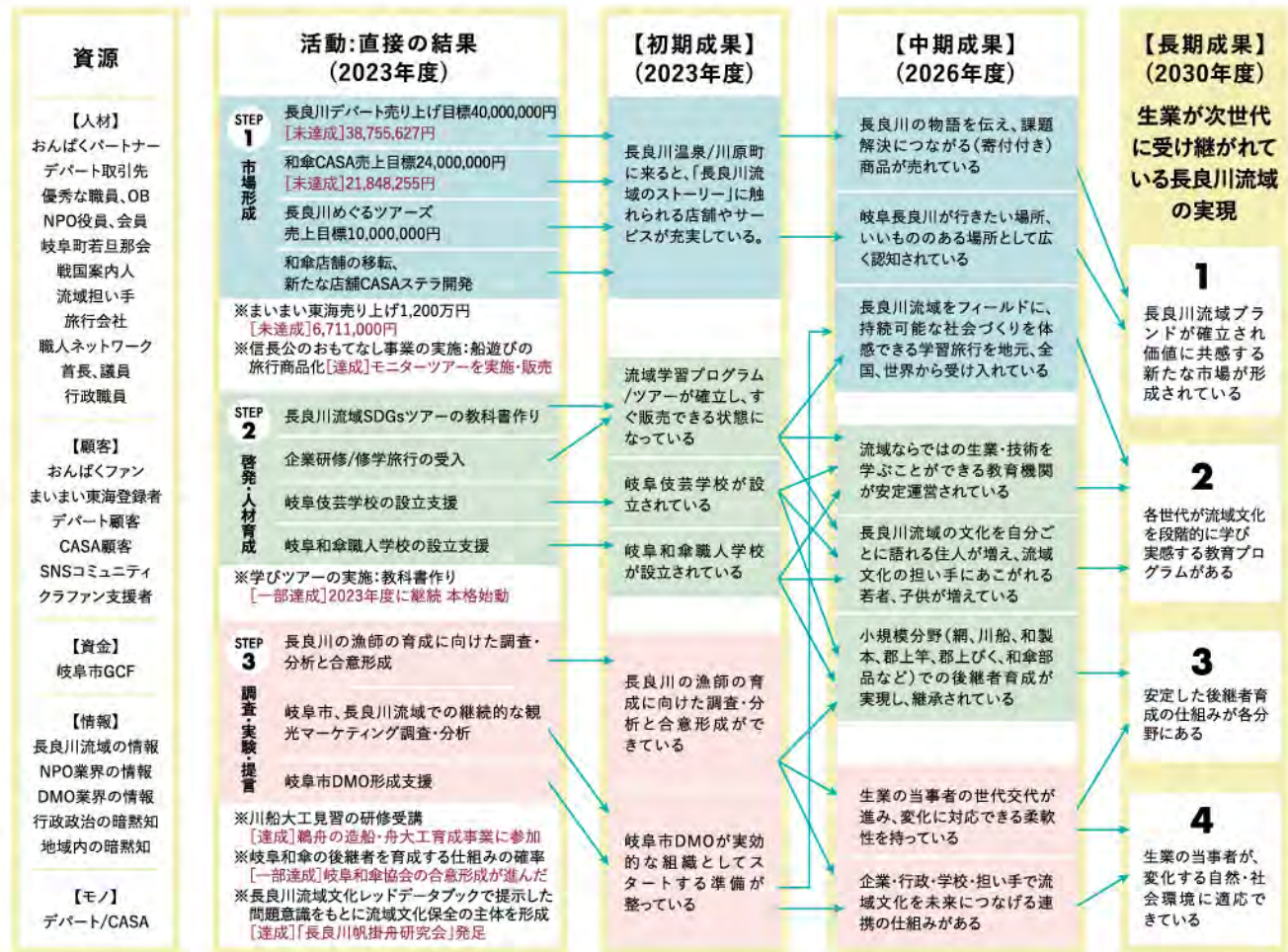
### に向けたロジックモデル

2022年度末、ORGAN職員一同でロジックモデルを考えるワークショップを行いました。最初にロジックモデルを作成してから約4年。当初は、合同会社めぐる(代表 木村真樹氏)の研修を受け、理事の蒲と籠原によって作成し、年度ごとに見直しをしてきました。しかし今回は、日頃各事業に関わっている職員みんなで、あらためてロジックモデルと向き合いました。今、私たちが取り組んでいることが、どんな未来に繋がるのかを描き、見直すという時間を持つことができたのは大変有意義な時間だったと思っています。

2030年度を見据えて設定している【長期成果】は、今回一部変更をいたしました。昨年度までは「長良川ならではの生業文化が継続できる環境がある」としていましたが「生業の当事者が、変化する自然・社会環境に適應できている」に変更しました。新型コロナウイルスの蔓延で、社会や私たちの暮らし・考え方も少なからず変化しました。この先の未来に

おいても環境の変化というものは起こり得ること。その中で何をやるのかを見出し、しなやかに立ち振る舞う柔軟さも文化の継承には不可欠ではないかと考えます。たとえば木造船の文化継承のためには川での新しいアクティビティを創り出すといったアイデアもその一つではないでしょうか。

啓発・人材育成では、かねてより構想のあった学校の設立が少しずつ見えてきました。また、長良川流域SDGsツアーの教科書作りも具体化しています。調査・実験・提言も長良川流域、特に岐阜市の観光において実りあるものにしていきたいと継続して活動しています。連携する各団体と協力しながら、今年度も活動を続けてまいります。



# 市場形成 CASE 1

## 国土交通省 観光庁 看板商品創出事業

### 川のテロワール

長良川流域ならではの食文化を伝える事業として、オリジナルブランド「川のテロワール」をリリースしました。本事業では、長良川の恵みとして伝えていきたい新商品開発を中心に、イベント・ツアーの実施なども行いました。ORGANが実施するツアーや研修ではおなじみのモクスガニ。上海ガニと近縁種で旨味のつまった長良川の幸ですが、流通の方法が確立できていない、獲れる時期が限られている、食べ方が周知されていないなどの理由で、なかなか食卓にのぼる機会が少ない食材です。そんな状況をなんとかできないかと、漁師の平工頭太郎さんと連携し、冷凍モクスガニの商品化とオンラインイベントによる料理教室を実施。ほかにも、長良川デパート河口店長を中心に全12種類の商品をリリースしました。また、東京下北沢の発酵デパート内特設コーナーでも販売しました。

商品開発から広報にわたり、デザインは郡上の上村考版さんをお願いしました。ORGANが伝えたいこと、長良川流域文化とは、ということと一緒に向き合い、作成していただいたデザイン。力強さと繊細さと奥深さをあわせ持ち、まさに長良川!といったビジュアルになっています。店頭ほか特設WEBからも商品を手にとっただけです。WEBでは、各商品や長良川の食文化に関するストーリーもご紹介していますので、どうぞご覧ください。

※本事業は観光庁「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業(川のテロワール)」として実施いたしました。

### オンラインイベント

1月21日開催  
ガイド:松原章子さん・畑中商店さん  
郡上人が秘かに愛する魅惑の発酵食、旨味爆発オンラインみそ煮会〜とりこになる郷土料理、旨味の首都に伝わる秘伝レシピ大公開〜

1月22日開催  
ガイド:平工頭太郎さん  
清流の恵みを堪能!川漁師平工さんと作る漁師飯〜甘くて濃厚!極旨内子とかにみそ、希少すぎる絶品モクスガニをいただく〜

### リアルツアー

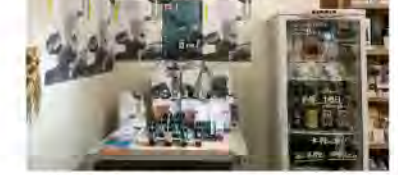
2月11日開催  
【長良川発酵】小倉ヒラク・服部みれい&行く!郡上の山のフルコースと長良川のテロワール〜味噌煮・ニンジン寿司から鮎熱れ鮎・魚醤新展開とモクスガニのマリアージュまで〜



長良川デパート店内 全12種の商品を販売



メインビジュアルには鮎のはみ跡の画像を使用しています。(写真提供:結の船)



発酵デパートでの出店

<https://terroir.info/>  
WEBサイトトップ画面を少しスクロールすると「川のテロワール」を現る言葉が出てきます。

### 事業責任者の声

長良川流域の魚食、発酵食文化を、現地で作り手、伝え手のスペシャリストから話を聞きながら見学をし、さらに食す体験は、改めて長良川の雄大で豊かな恵みに大きな感動とともに敬服の念に堪えない経験でした。この「美味しい」だけではない滋味深い食文化を見事にデザイン化してくださった上村考版さんと一緒に作り上げたこともまた意味深いものでした。多くの方に商品を通じてこの世界を感じていただけることを願っています。



## 市場形成 CASE 2

# 長良川鵜飼船遊びと 信長公のおもてなし 御座船遊び

2022年度の長良川船遊びの実施回数は史上最高となる24回でした。長良川流域文化の粋(すい)ともいえる船遊び。しかし、後継者となる芸舞妓の担い手は減少の一途です。また、さまざまな理由から若年層が船遊びを経験する機会が減少しているという悩みも抱えています。そうした状況の中、ORGANが実施した「まいまい東海」での船遊びツアーや研修・視察の中でも船遊びを体験していただきました。また、日本遺産「信長公のおもてなしが息づく戦国城下町」体感ツアーとして、御伽衆による御座船遊びも開催。参加者の満足度はとても高く、岐阜・長良川の魅力としてこれからも伝えていきたい文化です。情報発信や、旅行商品としてのパッケージづくり、受け入れ体制づくりなど、課題は残りますが、まずは需要が見込めたことが2022年度の大きな成果と考えています。

### STEP 1



#### 出船

笛や太鼓の演奏で賑やかに出発します。係留地までは金華山を眺め長良川や岐阜のご紹介を。鵜飼や船遊びの背景を知ることができます。

### STEP 2



#### お食事・お座附

鵜飼が始まるまで観覧船は水上のお座敷です。金華山を屏風のように背負い舞う舞妓さん。鵜飼をモチーフにした曲など、岐阜の遊宴文化の結集がそこにあります。

### STEP 3



#### 花火・鵜飼の始まり

すっかり日も暮れたころ4発の花火を合図に、鵜飼が始まります。

### STEP 4



#### 狩下・総がらみ

鵜舟と併走して、鵜匠の手觸さばき、鵜の姿、篝火の熱まで感じられます。鵜飼後の戻りは民謡「おっぱ」を唄い、終宴です。



織田信長公が、武田信玄の使いを特別な鵜飼観覧船【御座船(ござぶね)】を仕立てて、おもてなしした記録が残されています。最高のおもてなしを現代風にアレンジし、当時の衣装に身を包んだ芸妓【ぎふ御伽衆(おとぎしゅう)】たちが船上宴席としてご提供。日本遺産「信長公のおもてなし」体感ツアーとして企画・実施しました。

## 事業責任者の声

御座船遊びの実施では鳳川伎連さんに企画段階からご協力いただきました。和の文化に広く精通し、芝居演出なども手掛けられる喜久次さんから、衣装やしつらえなどもアドバイスを頂きました。高級観覧船に赤毛氈を敷き、金欄のテーブルクロスを用意。通常の船遊びとは違う、当時の最上級のもてなしを彷彿とさせるかたちになりました。通常の船遊びも、認知度が高まっています。今回、運営マニュアルや広報用のWEBを整備。高付加価値な長良川の楽しみ方として、販売していく体制を整え、受注拡大することで文化を残していきたいと考えています。

## 市場形成 CASE 3

# まいまい東海

長良川おんぱくの後継事業としてスタートをきった「まいまい東海」。着地型観光の先進的事例「まいまい京都」の手法を取り入れ、東海三県でまちあるきを中心としたガイドツアーを展開しました。約半年間の準備を経て2021年10月にツアーを開始。当時は新型コロナウイルスまん延による緊急事態宣言で人々の行動も制限されていましたが、2022年にはコロナ禍の制限もゆるやかになりました。道マニア「TEAM酷道」のよごれんさんとめぐる柳ヶ瀬B面まち歩きなど、まいまい東海をきっかけに生まれた人気ツアーも育っていきましたが、2023年3月をもって事業終了とさせていただきます。

### ツアー 1



【岐阜城と月】初心者でも撮れる!フォトグラファー小林淳の白熱カメラレクチャー〜カギは岐阜の地形!?日本唯一、巨大満月と名城を切り撮る夜〜  
TVやメディアでも話題の小林淳さんによるカメラ講座。

### ツアー 3



【ストリップ】まさご座女性社員のストリップ入門!エロス&アガパー渦巻く禁断の世界へ〜女性も楽しいダンスショー!残された昭和の異空間、5つのステージで涙せよ〜  
全国でも数えるほどとなったストリップ劇場が岐阜に。初心者にも楽しみ方を伝授。

## まいまい東海の活動実績

【実施期間】2021年10月〜2023年3月  
おもに毎週末ごとに2〜3ツアーを開催  
【ガイド】105人  
【総ツアー開催数】236ツアー  
【参加申込総数】2701人  
(抽選落選・キャンセル・キャンセル待ち含む)  
【参加者総数】2003人  
同行スタッフとして8名の方にご登録いただきご活躍いただきました。

### ツアー 2



【金生山ピラミッド】TEAM酷道と行く!日本一の石灰産業が生んだ奇跡の威容〜化石ごろごろ!工場萌え石灰銀座、巨大磐座の迷宮、幻の産業遺産を見届けよ〜  
石灰の採掘により作られた景色を道マニアよごれんさんと歩きます。

### ツアー 4



【プラトガシ・伏流水編】タモリさんを案内した富樫先生と長良川夕暮れまち歩き!〜扇状地の地層体験!地層のミルフィーユ?!鏡岩水源地と2つの深さの水飲み比べ〜  
岐阜のまちあるきの第一人者富樫先生。地理の専門知識や美味しいお店のお話まで。

## 事業責任者の声

まいまい東海立ち上げから運営まで、まいまい京都の以倉さんに大変お世話になりました。ORGANスタッフ向けの研修、ほぼ毎週のZoomミーティングなど、勉強させていただくことがとても多かったです。まいまい東海を実施したことで、参加者層も全国に広がりました。北は北海道、南は九州、また、関東地域からの参加者も多かったです。岐阜を含め東海地方だけの体験を求めてくださるみなさまに会い、この地の魅力を再認識させていただいたように思います。まいまい東海としては終了しましたが、本事業での成果を次につなげていきます。



# 2022年度 活動計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

科目	金額	(単位:円)
<b>I 経常収益</b>		
1. 受取会費		
正会員受取会費	140,000	
入会金会費		140,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	760,900	
資産受贈益		
施設等受入評価益		760,900
3. 受取助成金等		
受取助成金		
受取補助金	9,609,378	9,609,378
4. 事業収益		
事業収益	129,276,302	129,276,302
5. その他収益		
受取利息・配当金	27,300	
受取賃借料	4,226,154	
為替差益		
雑収入	2,261,890	6,515,344
経常収益計		146,301,924
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費		
(1) 人件費		
役員報酬		
給料手当	23,580,600	
臨時雇賃金	10,715,384	
ボランティア評価費用		
法定福利費	4,166,927	
退職給付費用		
通勤費		
福利厚生費	56,594	
人件費計	38,519,505	
(2) その他経費		
売上原価	38,598,244	
業務委託費	34,567,179	
諸謝金	821,840	
印刷製本費	2,452,373	
会議費	661,397	
旅費交通費	2,746,209	
車両費		
通信運搬費	1,960,363	
消耗品費	4,098,563	
修繕費	62,500	
水道光熱費	152,944	
地代家賃	3,512,736	
賃借料	601,825	
施設等評価費用		
減価償却費	2,881,641	
保険料	432,857	
諸会費・負担金	12,300	
租税公課	42,000	
広告宣伝費	525,114	
研修費	683,280	
支払手数料	2,501,777	
交際費	636,126	
寄付金	25,220	
雑費	300	
その他経費計	97,976,788	
事業費計	136,496,293	

マンスリーサポーター会員のみならず、77万円の寄付金収入があります。ご協力ありがとうございます。

前年比、1,200万円収入が増加し、経常収益は3年連続して1億円を超えました。

前年比1,900万円事業費が増加しています。長良川デパートリニューアルで仕入額が増えているのが要因です。

科目	金額	(単位:円)
<b>2. 管理費</b>		
(1) 人件費		
役員報酬		
給料手当	3,017,600	
法定福利費	473,322	
退職給付費用		
通勤費		
福利厚生費	285,133	
人件費計	3,776,055	
(2) その他経費		
印刷費		
会議費	303,531	
旅費交通費	31,681	
車両費		
通信運搬費	160,583	
消耗品・事務用品費	143,582	
印刷製本費	1,167	
修繕費	70,964	
水道光熱費	684,357	
地代家賃	1,663,644	
賃借料		
減価償却費		
保険料		
外注費		
研修費	3,791	
諸会費・負担金	212,250	
支払利息	784,920	
租税公課	562,372	
支払手数料	907,373	
交際費	132,092	
寄付金	95,440	
雑費	28,417	
その他経費計	5,786,164	
管理費計	9,562,219	
経常費用計	146,058,512	
当期経常増減額	243,412	
<b>III 経常外収益</b>		
1. 固定資産売却益		
2. 過年度損益修正益		
経常外収益計	0	
<b>IV 経常外費用</b>		
1. 固定資産除売却損		
2. 災害損失		
3. 過年度損益修正損		
経常外費用計	0	
<b>V 経理区分振替額</b>		
経理区分振替額		
税引前当期正味財産増減額	243,412	
法人税、住民税及び事業税	233,300	
当期正味財産増減額	10,112	
前期繰越正味財産額	14,569,097	
次期繰越正味財産額	14,579,209	

※今年度はその他の事業を実施していません

この活動計算書は会計帳簿の記載金額と一致し、NPO法人ORGANの収支を正しく示していることを認めます。

担当理事 龍原潤一  
監事 田代達生

# 数字でみるORGAN

**設立**  
**12年**

**有給スタッフ数**  
**16人**  
(3月末時点)

**正会員数**  
**15人**

**マンスリーサポーター会員数**  
**93人**  
(2023年3月末時点)

**寄付収入額**  
**760,900円**  
※クラウドファンディングでの寄付を含む

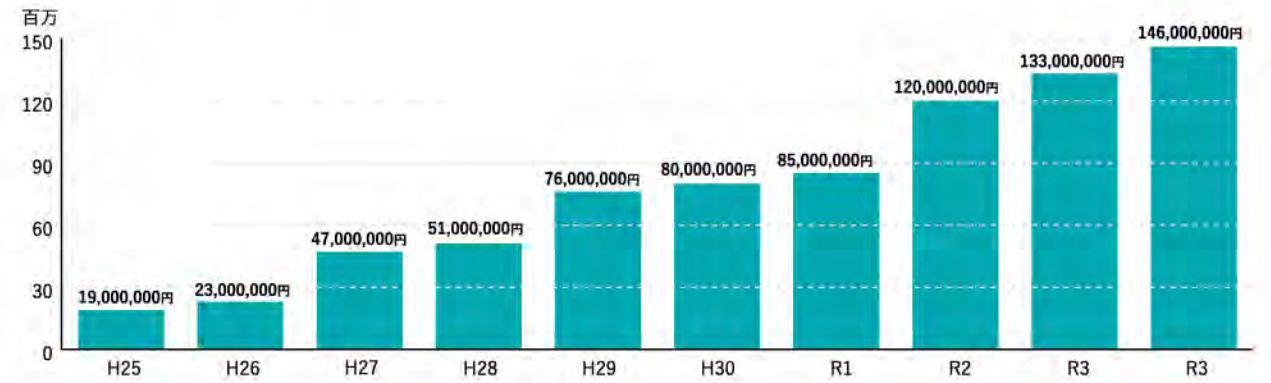
**長良川システムサポーター育成数**  
**98人**  
※2019年度から通算

**ツアー集客数**  
**1,602人**  
※まいまい東海参加者のみ

**移転したおんぱく**  
岐阜・岩手・福島・静岡・愛知・三重・大阪・兵庫・島根・高知・福岡

**開催支援した体験プログラム総数**  
**5,714**  
※通算

## ORGAN事業収益推移





# NPO法人ORGAN 2023年度事業方針

## 顧客指向の観光商品づくりから、持続可能な『ぎふ長良川』へ

まいまい東海を2022年度3月で終了し、2023年度は岐阜・長良川の原点に立ち返り「ぎふ長良川めぐるツアーズ」をスタートします。11年間の活動で培ってきた体験やまち歩きといった観光商品をさらに発信・販売することに注力していく年にしたいと考えています。その背景としては、2022年度に行った観光アンケートおよびヒアリング調査分析の結果があります。

関東・関西といった遠方の方にとっては「岐阜市」と「岐阜県」の違いが曖昧で、「岐阜市」としてのプロモーションは岐阜県全体を連想させ、岐阜市への誘客に繋がりにくいという仮説がうかびあがってきました。岐阜市や長良川流域の観光が盛り上がることで、長良川に育まれた文化のあらたな市場を形成し、継承に繋がっていくと考えるORGANにとって、取り組むべき課題がまた一つ見えてきました。あらためて、来訪地名としての『ぎふ長良川』を定着させていく

努力が必要だと考えています。

まいまい東海に代わりスタートする着地型体験ポータル「ぎふ長良川めぐるツアーズ」では、当日予約で気軽にできる体験から、旅の目的となるディープなまち歩きツアーまで、それぞれのニーズに応える体験を用意することで岐阜・長良川のファンが増えることを目指しています。

また、啓発・人材育成では、長良川流域文化を学ぶ教科書作りが始動します。企業研修や修学旅行などのツアーの受け入れも行い、「学び」を提供することで、長良川流域文化の継承に共感し、賛同する仲間や次世代の担い手が増えるのではないかと考えています。

今年度も市場形成、啓発・人材育成、調査・実験・提言の3つの柱を軸として、長良川流域文化の担い手や多くの仲間と連携しながら、課題解決に取り組んでまいります。どうぞ、宜しくお願いいたします。



# ORGANの活動に参加するには？

NPO法人ORGANでは、共感いただけるみなさんとの様々な関わり方をご用意しています。

### ORGAN長良川サポーター (マンスリーサポート会員)

ORGANの活動全体を応援する月額寄付会員。webサイトを通じてリアルタイムに活動報告をお送りします。

#### マンスリーサポート会員 入会ご希望の方

合同会社めぐるの運営する社会課題解決支援サイト「凸と凹」内のプロジェクトからマンスリーサポーター会員に登録できます。



### プロボノ

ORGANが定義する特定のミッションに対して一緒に取り組む人を募集します。今後のワークショップを踏まえ募集、活動の開始をします。

### ORGAN正会員

総会の議決権を有する会員です。会費は年10,000円です。今後、事業展開を行う中で定期ミーティングの参加等によりORGANに関わることが出来ます。長良川流域に現場を持ちORGANとビジョンを合わせて活動する方を想定しています。

## NPO法人ORGANの活動をフォローしてください！

